



あいざわ けいいちろう 圭一郎

の 地域だより

Vol.01

33歳 情熱男走ります！

ある晴れた日の水曜日…自転車をこぎながら地域をまわっていた時のことです。数人の男性が、ドブの中に入ってゴミを引き上げていました。声をかけ話を聞いてみることに。

クローズアップ環境問題

ドブから上がって来たMさん(自営業 60代男性)が開口一番「これ見てよ。どう思う？」

Sさん(自営業 60代男性) Kさん(自営業 60代男性)から「これでいいですか？三郷は」と問いかけられました。

この方達は、三郷インターチェンジ付近のゴミの散乱、水路に捨てられたゴミの現状を見て「これではいかん！」と奮い立ち、今から一年半前から週一回ボランティアでゴミ拾いを続けているそうです。

東洋一と言われている三郷インターチェンジは三郷の顔であるのに、まるで定期便の長距離トラックに乗って日本中のゴミが三郷インターチェンジ付近に集まっているようにも思える。これでは、三郷に来た人たちが良い街だな、ここに住んでみたいねと思うはずがない。三十年前の三郷は一面田園風景でのどかな街だった。カエルが鳴きタナゴが泳ぐ水と緑の街だったのに、都市化が進むにつれゴミと一緒に心まで捨てている状況、モラルの低下に嘆き、心を取り戻そうと同氏達は切実に訴えている。

(三郷高校西側水路)



(首都高速三郷西出口付近)



週1回の三郷インターチェンジ付近のゴミ拾い活動で、ゴミ袋30~40袋ぐらい回収します。ゴミは空き缶、ペットボトル、吸殻、雑誌、弁当の空き箱などが多いですね。他にも水路の中には自転車、タイヤ、カーペット、建材の資材、ゴルフバック、自動車部品、電化製品、洗濯機も今までに3台もありました。

私達の行動を見て、一人でもゴミを捨てる人が少なくなれば、そしてこの状況を見て一人でも多くの方が、気付いた時に、自分のペースでボランティア活動をしてほしい。そうすれば人々に奉仕の心が芽生え育っていくでしょう。三郷市憲章の一つである「**環境をととのえ、川や道路をきれいにし、花とみどりを愛して、美しいまちをつくりましょう**」この言葉を現実にするために今後も頑張っていきます。楽しくなければボランティアではない。きれいになるのは気持ち良いでしょう！と笑顔で話してくれました。



水路から上げたゴミの山



(ピアラシティー南側水路) 向かって左が逢澤圭一郎

☆あいざわコラム☆



江戸川と中川に囲まれた三郷市の特徴を活かし、水と緑の心豊かな街づくりを進めていきます。我々市民一人ひとりが、地球家族の一員として住環境をよくする体制を確立し、景観美化運動に対する支援の輪を拡げていきます。

後日、この方達の心に敬服し、時間がある時にボランティア活動をさせていただいております。水路の中には本当に洗濯機が落ちていて…と言うより落とすわけなので捨てたのでしょうか…これを拾い上げるのは一苦勞でした…(汗)

この方達以外でも私の知る限り町会、団体、会社組織、有志の方、シルバー人材センターの方などが、駅前をはじめ市内各所でボランティア活動をされています。

私は現在33歳ですが、ポイ捨てをしたことがないなんて事は言えません。でも**気付いた時から変えていく姿勢**は大事なのではないのでしょうか。拾う勇気、気付かせる心が環境だけでなく教育、防犯、そして地域をよくすることに繋がっていくと思います。

●ご意見ご提案がありましたらお書きください

お名前

ご住所

連絡先

お問合せ 逢澤圭一郎

三郷市早稲田2-10-7

TEL 957-8462 FAX 957-8465